

授業実践に取り入れた動機づけを高める手立て

段階1 動機づけのための基礎的な環境を作り出す

単元	動機づけを高める手立て
授業前	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の最後にプレゼンテーションをすることを知らせ、作成した英文を練習し発話できるようになることが英の能力の伸長に大切なことを伝える。 ・教師が示すステップを一つひとつクリアしていくことで必ずできるようになると伝える。 ・わからないことがあれば教師や友だちに相談するように指示する。 ・授業時には間違いを恐れずに取り組むことを勧め、間違えることは学習上必要なことを伝える。 ・創造力豊かに発想することを勧める。 ・過去に作成した生徒の成果物は掲示したり、紹介したりしておく ・授業時にはルールを守ることを伝え、教師が示したり生徒から出されたりする「集団の決まり」は遵守するように勧める。

段階2 学習開始時に動機づけを喚起する

単元	時	動機づけを高める手立て
Get Part 1,2	1,3	<ul style="list-style-type: none"> ・学習するテーマについて生徒が作成するモデルとしてのプレゼンテーションを教師が行い意識を高めさせる。 ・新出文法を音声を中心に導入し、色や字体を目立たせて提示する。 ・新出文法を文脈を示しながら提示することで、自分も活用できそうだと感じさせる。
	2,4	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションが上手くできるには言語知識をしっかりと身につけることを知らせる。 ・辞書を使用させ、語彙や文法事項を意欲的に活用させる。 ・調べた言語知識を活用して自分が伝えたい内容を表現させる。
	5,6	<ul style="list-style-type: none"> ・目標文法を反復練習し、口頭での使い方に習熟させる。 ・課題の目標を設定し、ポイントを伝えたり個々にアドバイスを与えたりして意欲的に取り組ませる。 ・課題を達成した生徒をモデルとして示し、上手くできている点を具体的に知らせる。 ・「話すこと」を「書くこと」において表現させる。 ・英語が上手くなるということは、技能を上手く活用できるようになることであることを伝える。

単元	時	動機づけを高める手立て
Read	7	<ul style="list-style-type: none"> ・長文を理解する手立てとして、スラッシュリーディングやサイトラ読みを行わせる。 ・リーディング活動が単調にならないように、一文字目読み（*磯田(2010)を参照）などのハンドアウトに取り組みさせる。 ・教科書内容の理解度を確認する英問の解答をどのように作成すれば良いかの手がかかりを与える。
	8	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文で取り上げられている内容のように地域の特産物について表現していくことを伝える。 ・教科書本文内の文法事項や語彙について辞書を使用して例文などを調べ、実際の使い方を学習させる。 ・調べた例文や教科書本文を活用して、地域の特産物について表現させる。

段階3 動機づけを維持し保護する

単元	時	動機づけを高める手立て
表現活動	9	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特産物を紹介する英文を作成するタスクはこれまでに作成してきた英文や教科書本文などを活用すれば完成できることを伝える。 ・グループで行うプレゼンテーションはビデオで撮影することを知らせる。
	10	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に作成した英文を持ち寄り、グループで作成させる。 ・各個人の具体的な役割をグループ内で分担し、個別な課題を作らせる。 ・文法間違いよりも文量に着目させながら作成させる。 ・教師によるフィードバックを与える。
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した英文を役割分担して、発表する練習に取り組みさせる。 ・プレゼンテーションを行う際には話すスピード、発音、声の大きさ、アイコンタクトなどに注意することを指示する。
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・練習の際に間違いが多かった点や注意すべき発音などを意識して発話することを確認する。 ・評価の際には個人だけではなく、これまでのグループでの取り組みについても行う。

段階4 学習経験を締めくくる: 肯定的な自己評価を促進する

単元	動機づけを高める手立て
授業後	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の取り組みにおいて、頑張った点、もっと頑張れた点などについてふり返りをさせる。 ・ライティング課題を使用し、自分ができるようになった点について確認させる。

*磯田貴道 (2010) 『教科書の文章を活用する英語指導—授業を活性化する技 108—』 成美堂